

大規模災害協定に基づく連絡会（南薩ブロック）議事録

場所 : 南薩地域振興局 別館 2F 第5会議室
期日 : 令和7年5月30日（金） 14:30～15:30
参加者 : 南薩地域振興局建設部

森元幸友 建設部長
寺園太 土木建築課長
加治屋勝行 技術補佐兼道路建設第一係長
佐野伸一 技術補佐兼道路維持係長
福元隆弘 技術主幹（指宿市駐在）
篠原政志 技術主幹兼道路建設第二係長
関山智幸 河川港湾課長
原田幸男 技術主幹
川畑浩一 技術主幹兼河川砂防係長
小筋隆次郎 技術主幹兼港湾漁港係長

（事務局）

森山豊 技術主幹兼技術調整係長
松木純 技術主査
田實亮太 土木技師

測量設計業協会 安永幸信 会長
西川晃央 理事
塚田賢太郎 理事

連絡責任者（正）

（株）大亜
西ノ園憲志（技術部長）

連絡責任者（副）

（株）アジア技術コンサルタンツ
谷門祐次（技術部品質管理室管理統括）
鮫島良平（技術部測量調査課主任）

（株）日峰測地
室屋祐介（代表取締役）
宇田英憲（技術部課長）

【議事録】

- 開会挨拶 -

森元幸友 鹿児島県南薩地域振興局 建設部長
安永幸信 (公社) 鹿児島県測量設計業協会 会長

- 資料説明 -

(1) 振興局資料説明

- ・ 簡略な管内の公共土木施設概要（道路, 河川, 急傾斜地, 港湾漁港, 都市計画, 建築）、災害支援協力のフロー図, 実施要領、ほか各添付資料の説明。
- ・ 留意事項
協力業者と県担当職員間の連絡、報告、共有を徹底し迅速かつ慎重に進める。
早急な被害状況把握が求められる中、事故やケガの無いよう十分留意する。
各体制表における個人情報の取り扱いには十分注意すること。

(2) 協会資料説明（測量設計業協会）

- ・ 協定（経緯）、過年度協力実績、令和7年度の連絡体制や協力対応スキームの説明。
災害対応研修会概要など各添付資料の説明。
調査員証明書（令和7年度は薄緑色）や調査時の着装の説明。

(3) 意見交換

- ・ 県)
南薩ブロックは協定を発動するほどの大規模災害はこれまでほとんど無いが、近年の気候変動や線状降水帯の発生には気を抜けない。
いざというときに円滑な連携が図れるように、今後とも協力していきたい。
- ・ 協)
国主導による DX 査定の推進など手法の変化も多々あるが、
鹿児島県測協会員においては奄美や北薩にて DX 査定実績も数社ある。
その他最新技術の活用や設備の導入においても安心してご相談いただきたい。
またデジタル化が進行する現代において、円滑な業務対応の為にも
普段からの担当者同士の顔合せはやはり重要である。
今後ともなんなりとご質問いただきたい。

- その他 -

- ・ 諸対応に関する質疑応答。
- ・ DX 査定等の概要説明および意見共有。
- ・ 情報共有速度及びツールについての確認、質問及び情報交換
（管内図他各種台帳等含む）。
- ・ 連絡体制及び支援協力フロー図の再確認。
- ・ 安全な調査体制の確立及び個人情報等の扱いに関する再確認。

【会場の様子】



【各資料】

- ・出席者名簿, 座席表
- ・協定書 (写し)
- ・令和7年度の連絡体制 (鹿児島県測量設計業協会)
- ・管内の公共土木施設概要 (道路, 河川, 急傾斜地, 港湾漁港, 都市計画, 建築)
- ・災害支援協力フロー図, 実施要領, 留意事項
- ・大規模災害時における被害状況調査の支援協力に関する協定 (経緯)
- ・大規模災害時における被害状況調査の支援協力に関する連絡体系図
- ・その他資料 (災害調査員証明書, 腕章, ベスト, 災害対応研修会概要)

以上、15:30 閉会。